

大妻同窓会福島だより

第6号 平成25(2013)年10月22日 発行

ご挨拶

大妻同窓会福島代表 岸本 有代

大妻同窓会福島の会員の皆様こんにちは。

記録的な猛暑の夏が過ぎ、紅葉の季節となりました。

東日本大震災・原発事故から2年半が過ぎましたが、福島県はまだまだ沢山の問題を抱えており、穏やかな日々には遠いように感じております。

皆様いかがお過ごしですか。

大妻同窓会福島では、昨年11月16日(金)に、平成24年度総会・お食事会を開催しました。慌ただしく過ぎて行った時を経てお元気にお集まりくださったことに大変感謝しております。

さて、大妻女子大学では、「真に自立した女性を育む空間」の充実を図るために、「千代田キャンパス再開発プロジェクト」に取り組んでいます。その第1期工事が2013年3月に完成しました。2014年に第2期工事、2015年に第3期工事が完成すれば、学習環境が格段に改善され、家政学部と文学部は千代田キャンパスで一貫して学べることになるそうです。

また、経済が停滞しデフレが続いていた国内においては、アベノミクス効果が期待され、経済の回復の兆しが見えてきています。来年4月からは消費税も8%になり、更なる経済発展と社会保障制度の確立の為に、政策がよい方向に進むことを望むところです。また、2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定し、56年前を懐かしく振り返りながらも、明るい希望と捉え、前向きに皆様と歩んでいけたらと考えております。

今年も11月にささやかに総会・お食事会を開催したいと考えております。是非ご出席くださいますようお願い致します。

会員の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。



《平成 24 年度 会計報告》

《平成 24 年度 活動報告》

平成 24 年 4 月 6 日 大妻同窓会福島だより発行打ち合わせ
4 月 20 日 第 5 号発行
6 月 10 日 青葉の集い・代表者会議(東京)
9 月 27 日 平成 24 年度総会打ち合わせ
11 月 9 日 〃
11 月 16 日 平成 24 年度大妻同窓会福島総会
(郡山ビューホテルアネックス)
11 月 20 日 総会反省会
平成 25 年 3 月末日 平成 24 年度会計報告・事業活動報告提出

《平成 25 年度 活動報告とこれからの計画》

平成 25 年 6 月 16 日 青葉の集い・代表者会議(東京)

11 月予定 大妻同窓会福島平成 25 年度総会

《～平成 24 年度総会・お食事会を終えて～》

平成 24 年 11 月 16 日(金)郡山ビューホテルアネックスにおいて、大妻同窓会福島平成 24 年度総会・お食事会が開催されました。

少なからず東日本大震災・原発事故の影響があるであろうことは拭えず、また、平日ということもあり、出席者は 10 名でした。

総会は、会計報告・活動報告・その他と順調に進められました。

その後、お食事会になり、会員の皆様の近況報告やそれぞれの地域の現状や想いを語っていただき、最後に、この大妻同窓会福島の今後の在り方や方向性、どのように繋げていくか等の重要な意見も出て、熱い話し合いとなりました。とても有意義な意見を交わすことができ、やはり同窓という安心感は深く、大切なものだと感じました。

今回も、会員の皆様が各地のおいしい銘菓や飲み物等を差し入れてくださいました。ありがとうございました。



《地方同窓会の皆様から》

平成 25 年 6 月 16 日(日)ホテルオークラ東京にて、青葉の集いに続いて地方同窓会代表者会議が開かれました。各地方同窓会から出席された代表者の皆様に、福島へのメッセージをいただきました。たくさんの方に心に残るお言葉をいただき大変感謝致します。紙面の都合上、それぞれ一部を抜粋して紹介させていただきます。



●各地方同窓会とより深く連携がとれ、人生を幅広く深く生きれば最高に幸せと思っております。

〈愛知 坂田信子代表〉

●(福島から避難されている方々を思い・・・)もし、自分がその立場であったらと思う時、胸がいっぱいになります。早く元に戻り元気な福島になれる様少しでも協力出来ればなと思っています。

〈山梨 神宮司昭子代表〉

●被災なさった方の事を思うと胸が痛みます。年に一度青葉の集いでお目にかかり、一時でも気晴らしが出来ます事をお祈り致します。

〈関西 綿貫瑠璃子代表〉

●どんな小さなことでも私に出来ることがあればと心に入れております。どうぞ皆さん地方同窓会同志、協力して継続していきましょうね。みんなで頑張りましょう。

〈埼玉 市原玲子代表〉

●テレビで福島の事を放映しておりました。素晴らしい県民性で感激致しました。その精神があればきっと立ち直れます。千葉より応援しております。

〈千葉 四宮光枝代表〉

●福島の皆様の「心の被災」は目に見えない物との戦い！岩手・宮城は被害状況の違いによる環境比較による「心の被災」。未来を担う子供達の為にも、今出来る事をひとつひとつ行っていくことが私達のなすべき事ではないでしょうか？

〈宮城 田中勢子代表〉

●広島県の代表になったばかりの者です。皆様の数々の力にあやかり同窓会広島県の為に頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

〈広島・世羅 伊藤妙子代表〉

●東日本大震災では、皆様どんなにか怖いおもいをされたことと思います。皆様の一日も早いいつもと変わらぬ日常が戻ってこられますお祈りしております。また、何かお手伝いできることがありましたら、駆け参りますのでどうぞお知らせください。神奈川は近いです！！

〈神奈川 片岡三千恵代表〉

●「天心の譜」という映画を観る機会がございました。ふるさとをなくしてしまった小林研一郎さんならではの思いに涙しました。いつもいつも被災された方々への思いをもちつづけ応援してゆきたいと思っています。

〈長野 宮坂徳子代表〉

●若い会員が入り、次世代に繋がる支部になる様に、お互いに頑張りましょう！！

〈岩手 代表代理 赤坂みどり様〉

●同窓会福岡では、10 数名で総会を開いています。集まった皆様に子供の話、孫の話、栄養の話、とめどもない会話で一日を楽しんでいます。福島の皆様、何かと大変でしょうが頑張ってください。

〈福岡 梅野ハルミ代表〉

●青葉の集いで岸本代表は、福島現在の状況、いかに生活そのものが大変かというテレビ・新聞等の報道では聞けない本当の姿を訴え教えてください。遠く離れ、何のお力にもなれませんが、同窓の仲間が全国にいることを思い出して下さい。

〈東京 山田恵理代表〉

《～平安・雅の世界をたずねて～百人一首展》

長い間、書に親しんでこられた会員の笠原禮子さんが、平成 24 年 11 月 21 日から 23 日の 3 日間、須賀川市のギャラリーマスガにて個展を開かれました。

たくさんの素晴らしい書を拝見させていただきました。
これからも増々のご活躍をお祈り致します。



《エコキャップ運動》

ペットボトルのキャップを回収して、発展途上国（ミャンマー・ラオス・ブータン）の子供たちにワクチンを贈る運動です。

キャップ 2 kg（約 860 個）が 20 円に換金され、ポリオワクチン 1 人分を購入できます。

昨年総会にお持ちいただいたキャップは、4.8 kg（約 2063 個）でした。福島民友新聞社に納めて参りました。皆様のご協力ありがとうございました。

ささやかな運動ではありますが、皆様に関心を持っていただき、より多くのキャップが集まるようこれからも続けていきたいと思っております。

編集後記

大妻同窓会福島は 7 周年となり、役員改選をはじめ今後の会の運営に関して、皆様と意見を出し合い、望ましい方向へと進めていきたいと思っています。会への要望や助言、その他どのようなことでも、皆様と話し合って行きたいと思っています。是非とも皆様に総会に出席していただき、話し合いにご参加くださいますようお願いしております。

皆様のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

発行：大妻同窓会福島

代表：岸本有代